

記入年月日：令和 4年3月23日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			身体を動かす、学習を行う、製作をする、リラックスをするスペース等を分けて活動している。 相談室の一部をパソコン学習支援時に利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童福祉法に基づき必要な職員数を配置している。 支援により1対1の対応を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スペースを広く使えるよう配置している。階段等の段差があるところには滑り止めやクッションを使用している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			利用児童のモニタリングや支援会議に出席し意見交換を行っている。 職員同士での話し合いや振り返りの機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施すると共に、保護者とは口頭や連絡ノートにて常々コミュニケーションをとり、都度意向の把握や業務の改善を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の様々な研修を提示し参加を促したり、定期的に社内研修を行っている。 感染予防対策のためリモート開催の研修に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全職員に対し、面談内容などを報告し計画書の内容を確認している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	医療機関等からの情報提供で適応行動は把握しているが、必要に応じて導入は検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフミーティングにて話し合い、決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スタッフで話し合うことでマンネリ化を防いでいる。 固定化する方が良い面もある為、プログラムにより固定化させている。 季節ごとの様々なプログラムを準備している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			スタッフミーティングで話し合い決定している。 児童が楽しめるプログラムを組み、特に長期休暇の場合は細かく課題を設定し、児童たちが見通しを持てるように細かく伝えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児の特性に合わせた計画をしている。毎月のプログラムに集団活動と個別活動を組み合わせ計画案を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼、昼礼を行い、時間配分・役割分担の確認をしている。 事前確認を行い職員間の共通理解に努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援記録を記載、確認することで、職員間で情報共有を行っている。 支援終了から翌日の支援開始までに振り返りを行い配慮すべき事項を話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録への記載は徹底している。ケース記録の内容を確認し、職員間で話し合い、対応について検討している。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行うカンファレンスを基に半年に1回のモニタリングを行い計画の見直しの必要性について判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			様々な活動を取り入れ、多彩なプログラムを提供できるように工夫している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校、保護者と連絡を取り、情報共有を行っている。ホームページの活用や送迎時に情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、対象児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所や幼稚園との間では情報共有できていないが支援事業との情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、対象児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターの開催する研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス感染症等の感染状況の収束時点で検討する予定。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談、送迎時、電話連絡や連絡帳を通して、保護者の方の話を伺い、共通認識をもてるようにしている。必要に応じて話し合いの機会を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭側からの発信があった場合には助言等の支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に内容についての説明を必ず行っている。変更があった場合には速やかに文書にて保護者に連絡している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳等や電話などで対応している。ご希望によって個別面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を予定していたがコロナ禍で実施できなかった。コロナが一時的に下火になった時期に感染対策を行い児童の様子を参観、保護者同士の交流の機会を設けた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情対応体制について説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に活動内容のわかる会報誌を発行している。毎日のプログラム、行事予定も発行している。ブログにて日々の様子を掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員は個人情報の取扱い誓約書に署名し同意を得ている。個人情報取り扱いに関する規定を定めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			文書での伝達、口頭での伝達等それぞれの理解が得やすい様に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍の為、招待するようなイベントは行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成し、周知しているが徹底されているかは不明。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行い非常災害時に対応できるように努めている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の研修に参加し、それを基に社内研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束の対象となる利用児はいない為、個別支援計画書に反映していないが、今後必要に応じて記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、医師の指示書等が必要な食物アレルギーの利用児はいない。食物アレルギーがあるか等を保護者から聞き取りアセスメントシートに記入し配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの出た当日は職員に内容説明を行い周知している。ミーティング時に対策を話し合っている。